

令和3年度 第1回

認知症支援・介護予防・活躍推進に関する会議

資料 3

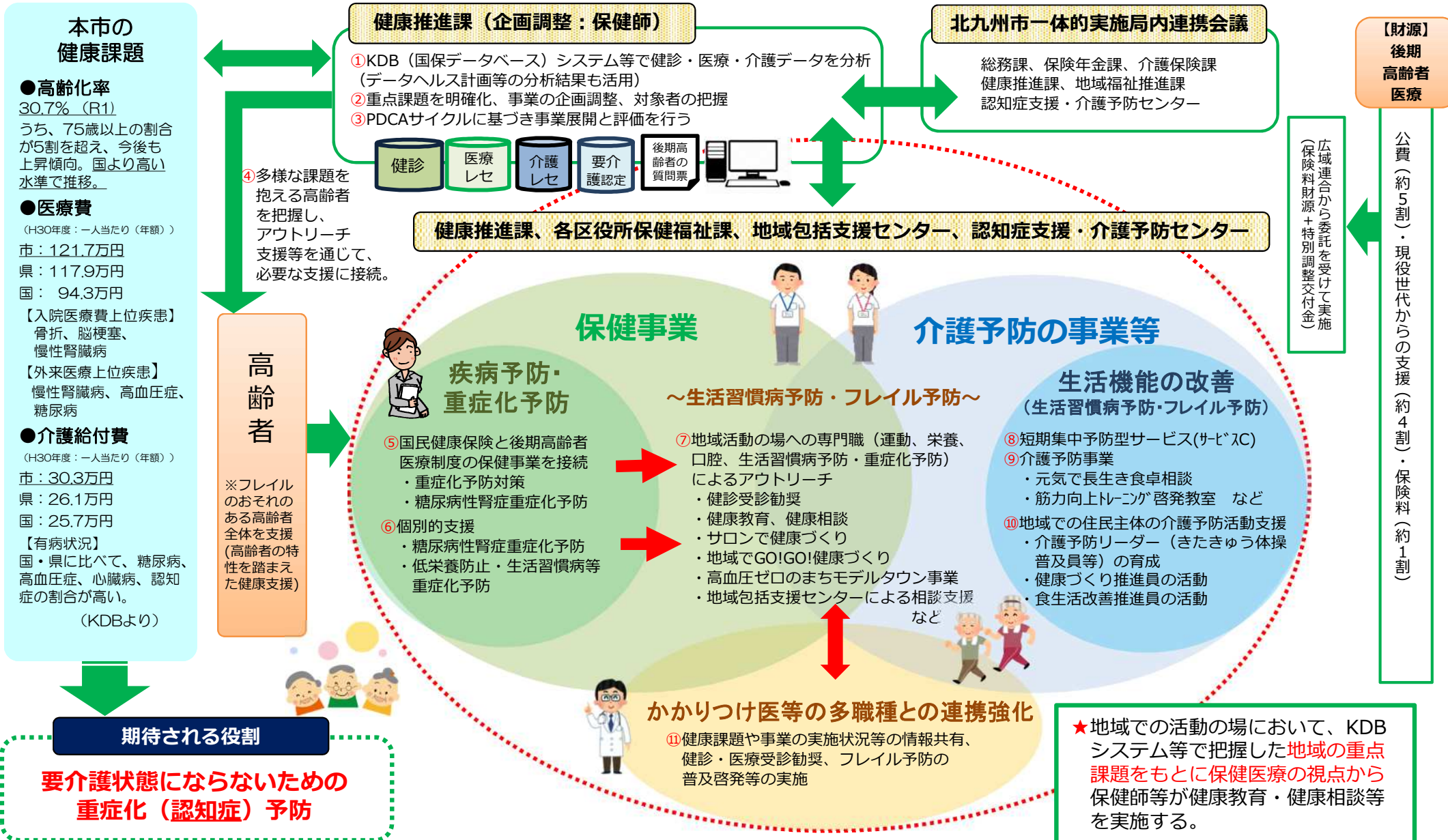
- ③主体的な健康づくり・介護予防の促進
 - ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

(北九州市における実施のイメージ図～疾病予防・重症化予防の視点から～)

厚生労働省資料一部改変

目指すところは… **健康（幸） 寿命の延伸（プラス2歳） ・ 社会保障の安定**



高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施
令和2年度 実績（医療専門職の関与）

ハイリスクアプローチ （健診有所見者 [※] への保健指導による 生活習慣病等の重症化予防）		ポピュレーションアプローチ （通いの場における関与）			
後期高齢者 健診受診者	特定健診受診者 （75歳到達者）	健康教育・健康相談		健康状態の把握	
		回数	参加者数	回数	参加者数
351人	136人	143回	4,656人	92回	1,138人

【参考】

後期高齢者健診受診率： 9.96%（15,006人）

※ 健診有所見者

血圧、HbA1c、尿たんぱく、eGFR等で受診勧奨値で未治療・治療中断者

【北九州市】要介護認定状況の経年推移

いきなり要介護5になった人について、レセプトから背景を考える

(R1 : 介護認定なし ⇒ R2 : 要介護5)

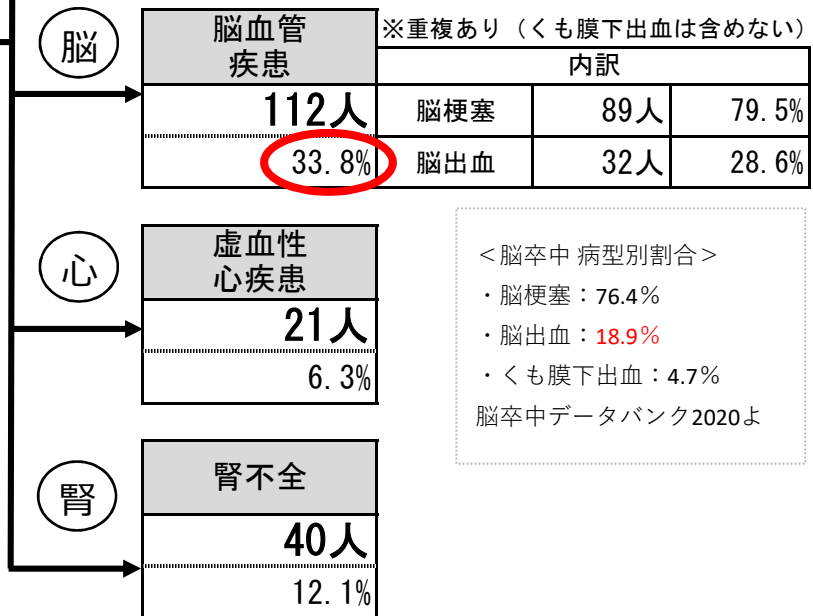
国保・後期以外は介護認定を受けた人のみ

	被保険者数 (1号・2号)	R1介護認定なし ⇒R2要介護5	医療・介護給付費		
			R1		R2
北九州市	312,163人	331人	423,728,730円	17億円 ←増→	2,127,868,179円

高血圧治療者 (R2)

高血圧
254人
76.7%

R2. 4月以降初診のレセプト



<脳卒中 病型別割合>

・脳梗塞：76.4%

・脳出血：18.9%

・くも膜下出血：4.7%

脳卒中データバンク2020よ

- R1に要介護認定がなく、翌年 (R2) いきなり要介護5になった方が**331人**います。
- 331人が要介護5となり、医療費と介護給付費が**17億円**増加しています。
- 要介護5の介護サービス費用は、支給限度額で1人あたり**年間435万円**かかります。
- 331人が、10年間介護サービスを利用すると、**143億円**必要です。
(北九州市の平均寿命と健康寿命の差 男性8.47年 女性13.09年)
- 社会保障費だけでなく、QOLの低下や介護問題、経済的な問題などに大きく影響します。
- 331人の背景をみると、脳血管疾患を令和2年度に発症した人が**33.8%**います。
- 脳血管疾患を発症した人のうち、**脳出血**の割合が**28.6%**で、一般的な割合よりも高く、重度の介護度となる傾向がみられます。
- 331人のうち要介護5になった以降で、**高血圧**の治療をしている人が**7割**もいます。

高血圧を予防・改善することが必要です。